

動物実験に関する自己点検・評価報告書

関東学院大学

2023年6月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関東学院大学動物実験等の実施に関する規程</p> <p>関東学院大学実験動物に関する飼養保管手順書</p> <p>2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は「基本指針に適合する機関内規程が定められている」との評価であったが、「改善に向けた意見」として、「現行の「動物実験規程」で実効性に支障はないが、改正する機会には公私立大学動物実験施設協議会が公開する最新の機関内規程（雛形）第 3 版を参考とし、動物実験計画の実施結果を受けた改善措置及び動物実験等に係る安全管理等の内容について機関の長の責務を明確にすることを検討されたい。」との指摘を受けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>動物実験計画の実施結果を受けた改善措置及び動物実験等に係る安全管理等の内容について機関の長の責務が明確に定義されていないため、「関東学院大学動物実験等の実施に関する規程」を 2023 年度中に改正する。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関東学院大学動物実験等の実施に関する規程</p> <p>2022 年度動物実験委員会構成員名簿</p> <p>2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書</p>

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は「基本指針に適合する動物実験委員会を設置している、との評価であったが、「改善に向けた意見」として、「実験計画書を審議する際に 3 要件の委員のすべてが確実に参加できるよう委員の構成を検討されたい。」との指摘を受けた。

4) 改善の方針、達成予定時期

「実験計画書を審議する際に 3 要件の委員のすべてが確実に参加できるよう、「関東学院大学動物実験等の実施に関する規程」を 2023 年度中に改正する。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

関東学院大学動物実験等の実施に関する規程
 動物実験計画書様式
 動物実験結果報告書様式
 動物実験計画変更追加承認申請書様式
 動物実験中止報告書様式
 飼養保管施設設置申請書様式
 動物実験室設置申請書様式
 施設等廃止届様式
 2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は「基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。」との評価であったが、「改善に向けた意見」として、「様式の内容確認や動物実験実施状況の把握が明確となるよう、動物実験結果報告書等に動物実験委員会の確認及び機関の長の承認の記入欄を設けられたい。」との指摘を受けた。

4) 改善の方針、達成予定時期

2023 年 2 月 15 日開催の動物実験委員会において、「動物実験結果報告書」、「動物実験計画変更承

認申請書」、「動物実験中止報告書」の書式に、動物実験委員会及び機関の長の記入欄を設け、様式の内容確認や動物実験実施状況の把握が明確となるように各様式を改訂することが承認された。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

関東学院大学動物実験等の実施に関する規程
 関東学院大学組換え DNA 実験実施規程
 2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は「該当する動物実験の実施体制が定められている。」との評価であったが、「改善に向けた意見」として、「安全管理に注意を要する動物実験を実施しない体制とするのであれば、動物実験計画書の書式等を実情にあわせることが望ましい。」との指摘を受けた。

4) 改善の方針、達成予定時期

2023 年 2 月 15 日開催の動物実験委員会において、安全管理に注意を要する動物実験（「遺伝子組換え動物使用実験」及び「化学発癌・重金属実験」）については、本学の現状では実験施設が整備されていない等の理由で実施することができない。したがって、2023 年度から、当面は実施しないことを確認し議事録に残すことが承認された。また、「動物実験計画書」の書式については、「特殊実験区分」の欄に「当面は実施を許可しない。」と明記し、選択チェックボックスを削除することが承認された。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

関東学院大学動物実験等の実施に関する規程

飼養保管施設設置申請書様式 動物実験室設置申請書様式 施設等廃止届様式 関東学院大学実験動物に関する飼養保管手順書 関東学院大学動物実験施設における緊急時の対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設等の設置と廃止に関する規定・各種書式、実験動物管理者や飼養保管手順書等が定められ、適正な飼養保管体制が整備されている。また、緊急時の対応についても、マニュアルが定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関東学院大学動物実験等の実施に関する規程</p> <p>2022年度動物実験委員会構成員名簿</p> <p>2022年度動物実験委員会議事録</p> <p>動物実験計画書</p> <p>動物実験結果報告書・動物実験の自己点検票</p> <p>2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は、「基本指針に適合し、適正に機能している。」との評価であったが、「改善に向けた意見」として「動物実験委員会における実験計画書の審査において、委員からのコメントがない場合にもその旨を議事録として記録し保管されたい。」との指摘を受けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>2023 年 2 月 15 日開催の動物実験委員会において、今後、動物実験委員会における実験計画書の審査において、委員からのコメントがない場合にもその旨を議事録として記録し保管することが承認された。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>2022 年度動物実験委員会議事録</p> <p>動物実験計画書</p> <p>動物実験結果報告書・動物実験の自己点検票</p>

<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が、動物実験委員会を通じて行われており、基本指針に即して適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関東学院大学動物実験等の実施に関する規程</p> <p>関東学院大学組換え DNA 実験実施規程</p> <p>動物実験計画書</p> <p>動物実験変更承認申請書・(変更後)動物実験計画書</p> <p>動物実験結果報告書・動物実験の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>2022 年度に遺伝子組換え動物実験等の安全管理に注意を要する動物実験は実施されていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関東学院大学動物実験等の実施に関する規程</p>

<p>関東学院大学実験動物に関する飼養保管手順書 2022 年度実験動物飼養保管状況の自己点検票 動物実験計画書 動物実験変更承認申請書・（変更後）動物実験計画書 動物実験結果報告書・動物実験の自己点検票 2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との評価であったが、「改善に向けた意見」として「飼養保管施設の環境条件（温湿度・明暗時間）について飼養保管手順書に明記されたい。」との指摘を受けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 2023 年 2 月 15 日開催の動物実験委員会において、「飼養保管手順書」を次のとおり改訂することが承認された。</p> <p>① 「温湿度については、「飼養保管手順書」の「入室と退室」の項目の中に、以下のとおり追記（下線部分）する。</p> <p>3. エアコンや照明設備の動作と温湿度を確認し記録する。 <u>※作業の際には、飼育室環境が温度 20～26℃、湿度 40～60%であることを確認・記録する。</u></p> <p>② 「飼養保管手順書」の中の記録用紙に、以下のとおり追記（下線部分）する。 実験動物飼育管理記録（ 年 月）<u>（適正環境：温度 20～26℃、湿度 40～60%）</u></p> <p>③ 明暗時間については、12 時間の周期が一般的なので、現状では 8 時～20 時を明期として設定している。したがって、「飼養保管手順書」の「入室と退室」の項目の中に、以下のとおり追記（下線部分）する。</p> <p>3. エアコンや照明設備の動作と温湿度を確認し記録する。 <u>※明期は 8 時～20 時を基本設定とし、変更が必要な場合でも 12 時間を維持する。</u></p>
<p>5. 施設等の維持管理の状況</p> <p>1) 評価結果</p> <p>■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p>

<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 関東学院大学実験動物に関する飼養保管手順書 飼養保管施設設置承認申請書 2022 年度動物実験委員会議事録 2022 年度実験動物飼養保管状況の自己点検票 2022 年度飼養保管施設視察結果 2022 年度飼養保管施設点検報告 2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。」との評価であったが、「改善に向けた意見」として「飼育環境をより衛生的に維持するため、施設等の床や洗浄後の飼育器材の消毒を励行する等、日常の飼育管理作業の向上に配慮されたい。」との指摘を受けた。
4) 改善の方針、達成予定時期 2023 年 2 月 15 日開催の動物実験委員会において、施設等の床や洗浄後の飼育器材の消毒を励行する等、飼育環境を衛生的に維持するための方策は、「飼養保管手順書」に明記しており対応済であるが、「同手順書」に明記された事項の実施を徹底し、日常の飼育管理作業の向上に努めることが承認された。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 関東学院大学動物実験等の実施に関する規程 2022 年度動物実験委員会議事録 2022 年度動物実験に関する教職員への教育訓練実施記録・受講者名簿 実験動物管理者等研修会修了証

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>機関内規程に基づき、実験動物管理者、動物実験責任者、動物実験実施者及び飼養者に対する教育訓練を適正に実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>2021 年度動物実験に関する自己点検・評価報告書</p> <p>2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書</p> <p>関東学院大学総合研究推進機構ホームページ（動物実験）</p> <p>http://kguramo.kanto-gakuin.ac.jp/research-ethics/animal/</p> <p>実験動物の飼養保管状況・その他</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>公益社団法人日本実験動物学会 外部検証委員会による「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」において、「検証の結果」は「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との評価であったが、「改善に向けた意見」として「情報公開項目に、飼養保管施設の情報を追加されたい。また、本検証結果報告書についても、速やかに情報公開されたい。」との指摘を受けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>2023 年 2 月 15 日開催の動物実験委員会において、情報公開項目に、飼養保管施設の情報を追加し、「2022 年度 動物実験に関する検証結果報告書」についても情報公開することが承認された。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>特になし。</p>
